

湊小たより



平成29年(2017年)12月号

学校長 小谷 雅之

師走(しわす)に入り、繁華街やテレビで見られるものは、クリスマスやお正月のことがほとんどというようになりました。軽快な“ジングルベル”等が聞こえるようになり、気持ちにあわただしさが感じられるようになってきました。さて、皆さんはどのような楽しい年末・年始を計画されているのでしょうか。学習、スポーツ、文化にと精一杯取り組んだ「きのくに学び月間」は過ぎてしまいましたが、12月は、気持ちまで忙しくなり、落ち着いて物事にじっくり取り組むという状況が少なくなります。でも、こんな時こそ、今年の残り一か月、次の学年へのステップと思い、しっかり生活計画を立て、一年間の学習内容の整理、復習も頑張っておいてほしいと思います。

修学旅行に行ってきました！

11月1日、2日と修学旅行に行ってきました。6年生の日頃のおこないが良かったためか、見学場所ではさわやかな秋の晴天が続き、気持ちよく見学することができました。旅館でも決まりを守り、集団行動ができ、周りの人にも迷惑をかけずに過ごすことができたように思います。第一に良かったことは、一人ひとりが自分自身の体調を知り、バス酔いしたり、食べ過ぎて腹痛にならなかったことです。良い旅行とは、周りの人への気遣いと自分自身の体調管理の2つが合わさって良い旅行ができるものです。今年の6年生はそうした意味で、大変すばらしい旅行と良い思い出をつくってくれたと思っています。



歯の健康優良校として表彰される



10月に和歌山県学校歯科保健優良校の決定通知を受け、昨年度に引き続き表彰されました。子供たちが普段から丁寧な歯磨きを心がけていることと、家庭でも細やかな指導をしていただいている結果だと思っています。これからもこの良い結果を維持するために、学校での保健指導もさらに充実させていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いします。

子供たちの苦手なところは、・・・？

10月18日に和歌山県の学習到達度調査がありました。4年生は、国語と算数、5年生は国語と算数、理科の3教科で、児童の学力の定着状況を把握し、今後の指導方法の工夫・改善に役立てるという趣旨で、県内の小・中学校で一斉に実施されました。詳しい結果は12月下旬でないと分かりませんが、子供たちは、自分の考えていることを文章にするということが苦手なようです。

つまり、思いを他に伝える(言葉や文章で)ということが苦手な様子があります。自分の思いを言葉にできない、相手に伝えられない。すると、テストでは正答を書くことができない、日常生活の中では周囲の人との間に誤解が生まれるといった悪い点が目立ってきます。そこで、まずできることは、日常から少しずつ時間を取り、子供たちと落ち着いて会話をして、お互いの思いを伝え合う練習などをするのも良いと思います。冬休みが良いチャンスです。

注意

★本校の全児童へ・・・まだ、11月の末だというのに、急に大変寒く



マスクも
大変
有効です

なってきました。インフルエンザも、他校ではすでに流行していると聞いています。

手洗いやうがいをしっかりして、かからないように注意しましょう。



